

図書館だより

埼玉県立図書館

28号

茅の輪くぐり

日本の国には、昔から六月と十二月の晦日に大祓いの式が行われて、半年間の罪穢を祓い、新しい生活への無事息災を祈る慣わしがある。特に六月の大祓いは、夏越の祓い、水無月の祓いとも云われ、これから暑い夏を迎えるにあたって種々の災厄を除くための神事として行われていた。

大宮市の武蔵一宮氷川神社では、今年も六月三十日夕方、輪くぐりの神事が行われた。



(大宮市広報課提供)

神橋の中央に青い茅葺でつくった茅の輪が設けられ、その輪の中央から白い和紙でつくった人形が下っている。参詣者はこの茅の輪をくぐって祓いをいたし身を清める。この茅の輪をくぐるとこの年は疫病に罹らないと云われ、諸事災難除けの神事として広く知られ、大勢の人々が輪をくぐった。

自分だけでなく、誰かさんの分までと、何度もくぐる人もいる。

母の分、も一つくぐる茅の輪かな

一茶

2012345678913012345

吉野泊り

久しぶりに旅に出た。それもある神社講の旅行に便乗したのである。高齢者が多いと言うので、病みあがりの私でもついて行けるだろうと、その旅程表を見た。一日目は奈良県明日香村(甘檜ヶ丘・岡寺・石舞台・飛鳥寺)壺坂寺・吉野泊り、二日目は橿原神宮・安倍文殊院・多武峯談山神社・三輪明神・室生寺・長谷寺・初瀬泊り、三日目は伊賀上野市(鍵やの辻・佛聖殿・白鳳城・芭蕉翁記念館)・信楽焼窯元となっている。講中の旅とあれば、神社仏閣の見学が主となるのは当然ながら、一般観光の大和路コースとは少し違った行程である。

以前に西国札所めぐり(観音信仰ではなく)で近辺の文学碑を尋ねたとき、家族と一緒にいくつかの神社や寺院を訪れたことはあるが、今回は芭蕉の出生地がコースにある魅力によって、参加を決めたと言えるかも知れない。ところが残念なことに、伊賀上野市は僅かの日程となってしまったのである。折角の芭蕉の研究は、いずれ再訪問してゆっくり見学してきたいと思っっている。

そこで第一日目の宿泊地吉野山道で、思いがけず見つけた芭蕉句碑について、御紹介したいと思う。

まず吉野山と言えば、桜の名所として知られているが、桜の季節は、交通混雑で花見どころではないとのことである。ところがシーズンオフのいまは閑散としており、葉桜どきに訪れるのも、一興ある旅となることを知った。

さて芭蕉は、江戸と郷里伊賀上野を数回往復しているが、その道中に吉野を訪れたことが、有名な紀行文として遺されている。

芭蕉文集の「笈の小文」をみると別名を卯辰紀行または芳野紀行と言われているが、その中に吉野行のことが次のように書かれている。

弥生半過る程、そらにうき立心の花の、我を道引枝折となりて、よしの花におもひ立んとするに、かのいらご崎にてちぎり置し人の、い



せにて出むかひ、ともに旅寝のあはれをも見、且は我為に童子となりて道の便りにもならんと、自万菊丸と名をいふ、まことにわらべらしき名のさま、いと興有。いでや門出のたはぶれ事せんと、笠のうちに落書ス

乾坤無住同行二人

よし野にて桜見せふぞ松の木笠
芭蕉

よし野にて我も見せふぞ松の木笠
万菊丸

貞享五年(元禄元年)の正月を、郷里で過した芭蕉は、三月十九日(陰暦)に吉野山に出かけた。同行は万菊丸、別名を杜国といい、尾張名古屋の坪井氏で、壺屋という富裕な米穀商を営んでいたが、貞享二年に空米売買の罪で追放され、三河国の保美(愛知県渥美郡)に、南喜左衛門と名を変え隠棲していた人である。

芭蕉はこの愛弟子の追放に心傷め、同情を寄せていたが、約束の保美を訪れ、花見を理由に吉野の旅を誘ったのである。

この時の検査の句碑が、吉野山の吉野神社近く路傍に建てられている。自動車なら神社を過ぎ、駐車場と見晴し台の先、道路の右側土手上にある。近畿鉄道吉野駅からケーブルカ



である。この句は元禄元年説の作品となっているが、その理由は、後に芭蕉翁全伝・泊船集・小文庫に収録され、その句の前書きが「芳野」となっているのので、この紀行のときこの地で作句されたものだろうと推定されている。

ところが、この「朝ぼらけ句碑」

が、わが埼玉県にも建立されている。加須市多聞寺の愛宕神社に、高さ1 m 90 cm・幅65 cm・厚さ12 cmの根府川石にこの句を刻み、明治二十四年に建てている。どうしてここにこの句を選び建てたのか、今後詳しく調査したい句碑である。

吉野山に話題を戻すことにして、その道を登って行き、中千本の中心に、金峯山蔵王堂が聳えている。高さ34 m、室町期最大の建物だったと書かれているが、修験道場として、この霊地にふさわしい御堂である。それからなお進むこと、上千本、奥千本となるわけだが、日程と体力が許さないので諦めることにした。

そこであとは資料に記されていることで御紹介する。芭蕉が奥千本の西行庵を訪れたのは、野ざらし紀行「甲子吟行」によると、西上人の草のいをりのあととは、奥の院より右の方三町ばかりわけ入程、柴人のかよふ道のみわづかに有て、さがしき谷をへだてたる、いとたふかし。彼とくくく、の清水はむかしにかはらずと見えて、今もとくくくと寒落ける。

露とくくく心見にうき世す、がばや

この句碑が吉野の鳳閣寺と西行庵

への谷間にあるとのことだ。自然石に「苔清水」と彫られ、その上にこの句があり、弘化三年に梅室が書いたものだという。一町ほど谷を下ったところに西行庵があるとのことだ。そこまで行きたいのが私のはかない夢である。ただ観光案内には、

とくくくど落つる岩間の苔清水
汲みほすまでもなき住居かな
西行となつてゐるが、果して西行歌なのか研究を要する和歌である。

去る61年3月11日と14日付埼玉新聞芸文欄に「埼玉の西行伝説考」と題し拙文を書いたが、全国各地にこの西行歌としてこの出典を明確にしたいものである。

最も関心のある芭蕉出生地(伊賀上野)を紹介できないのは残念であるが、急ぎ観覧しながら芭蕉翁記念館に展示されていた真筆の「自然」という二文字に心打たれ、この旅行の大きな心の土産となった。

天に従ふを道と謂ひ、道に従ふを自然と謂ふ。芭蕉

これも芭蕉の教訓かどうか知らないが、このような生き方が出来たら伴せではないかと思う。私も次の機会を待つとして、時に従ふを人生と謂ふ。の心でありたい。

(蓮田市 俳人・鈴木太一郎)

埼玉県立図書館めぐり

越生町立図書館

梅林で名高い越生町は、奥武蔵の山すそに開けた人口約一万二千人の町です。小川から飯能へ抜ける県道沿いに古くからの街並が広がり、東武越生線、八高線の越生駅から十分程の地に町役場、公民館等の公共施設が集まっています。

越生町立図書館は、その町の中心地の一角に昨年七月二十三日、装いも新たに開館しました。ガラス張り

の明るい玄関を入るとホールの正面がカウンターとなり、その奥に事務室があります。ホール右手は児童コーナーとなり、お話コーナーも用意されています。またホールから左手に進むとブラウジングコーナーを経て一般書コーナーとなっています。

今年三月現在の蔵書冊数は児童書六千冊、一般書一万二千冊の合計一万八千冊となり、図書館の目標としている「住民一人あたり二冊の蔵書」へ向けて収書を進めています。

児童奉仕の充実と一般の利用の促進、読書サークル活動の推進、また

梅園分室(現在は週一日の開館)の充実等々、課題は少なくないようですが、開館から一年を経て着々と活動を進めています。

旧館では行えなかった、土曜・日曜日のサービスも新館の開館と同時に始められ、また絵本の読み聞かせの講習会も開かれました。

施設の概要

鉄筋コンクリート造二階建
延床面積 一、〇九二㎡(視聴覚ホールを含む)

一階 開架室・事務室・書庫
二階 閲覧室三十六席・会議室・参考調査室(文化財展示室)



所在地 越生町大字越生九三五一
TEL 〇四九二一九二一六二一六



- 県立浦和図書館
 - 夏休み子供映画会
 - 日時 8月7日(休) 14時
 - 内容 「チョコレート戦争」「目をさませトラゴロウ」「牧笛」
 - 終戦記念日映画会
 - 日時 8月15日(休) 14時
 - 内容 「もしこの地球を愛するならば」「核戦争後の地球―第2部地球凍結―」「おかあちゃんごめんね」
- 木曜映画会
 - 日時 8月21日(休) 14時
 - 内容 「地球・月・太陽のようす」「四季の星座」「宇宙―未来への旅立ち―」
- 土曜映画会
 - 日時 9月13日(出) 14時
 - 内容 「ムーミン」「蝴蝶泉」
- 新着フィルム映画会
 - 日時 9月25日(休) 14時
 - 内容 「はじめをなくす―親の役割と責任―」「子どもの友情―親からのアドバイス―」「医療先端技術―ハイテクが生む大いなる福音―」
- 資料展示会

- 日時 8月23日(出)・30日(出) 9時・16時30分
 - 内容 武州藍―その技と美―
- 県立熊谷図書館
 - 名作映画鑑賞会
 - 日時 8月2日(出) 10時・14時
 - 内容 「ベルマの竖琴」
 - 日時 9月6日(出) 10時・14時
 - 内容 「七人の侍」
 - 夏休みビデオ映画会
 - 日時 8月6日(休) 10時・13時
 - 内容 「戦場のメリークリスマス」
 - 日時 8月7日(休) 10時・13時
 - 内容 「スターウォーズ帝国の逆襲」
 - 日時 8月8日(休)・9日(出) 10時
 - 内容 「風と共に去りぬ」
 - 定例映画会
 - 日時 8月15日(休) 15時
 - 内容 「虫の一生」「虫さがし」「秋の虫」「虫の冬ごし」
 - 日時 9月19日(休) 15時
 - 内容 「木の美しさを生かして」「伝統に生きる工業」「鎌倉影」
 - ビデオコンサート
 - 日時 8月23日(出) 14時
 - 内容 「吉川晃司'84ライヴングラッシュ―1ツツァー―」
 - 日時 9月27日(出) 14時
 - 内容 「海援隊終末記解散コンサート」
- 県立川越図書館
 - 夏休み子ども映画会
 - 日時 8月21日(休) 10時・14時
 - 内容 「おにのたいこ」「クマのプーさん」

- 日時 8月28日(休) 10時・14時
 - 内容 「モン太くんバトカーに乗る」
- 日時 9月6日(出) 10時・14時
 - 内容 「クマのプーさん*プーさんとおおあらし」「目をさませトラゴロウ」
- 名作映画会
 - 日時 9月6日(出) 10時・14時
 - 内容 「あにいもうと」
- 映画の集い
 - 日時 9月19日(休) 10時半・13時半
 - 内容 「えほんの世界」「日本のアンデルセン」「ちひろの世界」
 - 日時 9月27日(出) 10時・14時
 - 内容 「奥の細道の世界」「深川芭蕉庵」「源氏物語の世界」
- 県立久喜図書館
 - 夏休み子ども映画会
 - 日時 8月19日(休) 9時半・11時・13時半・15時
 - 内容 「おこりじぞう」他
 - 日時 8月28日(休) 10時・13時半・15時15分
 - 内容 「難破船」「新・子鹿物語」
 - 大人も子どもも青少年も映画会
 - 日時 8月21日(休) 9時半・11時・13時半・15時
 - 内容 「チャップリンの舞台裏」他
 - 夏休み親子映画会
 - 日時 8月30日(出) 9時半・11時・13時半・15時
 - 内容 「ゼロ弾きのゴースト」
 - レコード&スライド

※県立図書館特別休館日のお知らせ

秋季特別整理のため、下記の期間休館となります。

浦和	熊谷	川越	久喜
9月29日(休)~10月8日(休)	10月11日(休)~10月22日(休)		
移動奉仕・視聴覚業務は平常どおり行います。			移動奉仕・視聴覚業務・障害奉仕は平常どおり行います。
0488 29-2821	0485 23-6291	0492 44-5602	0480 21-2659

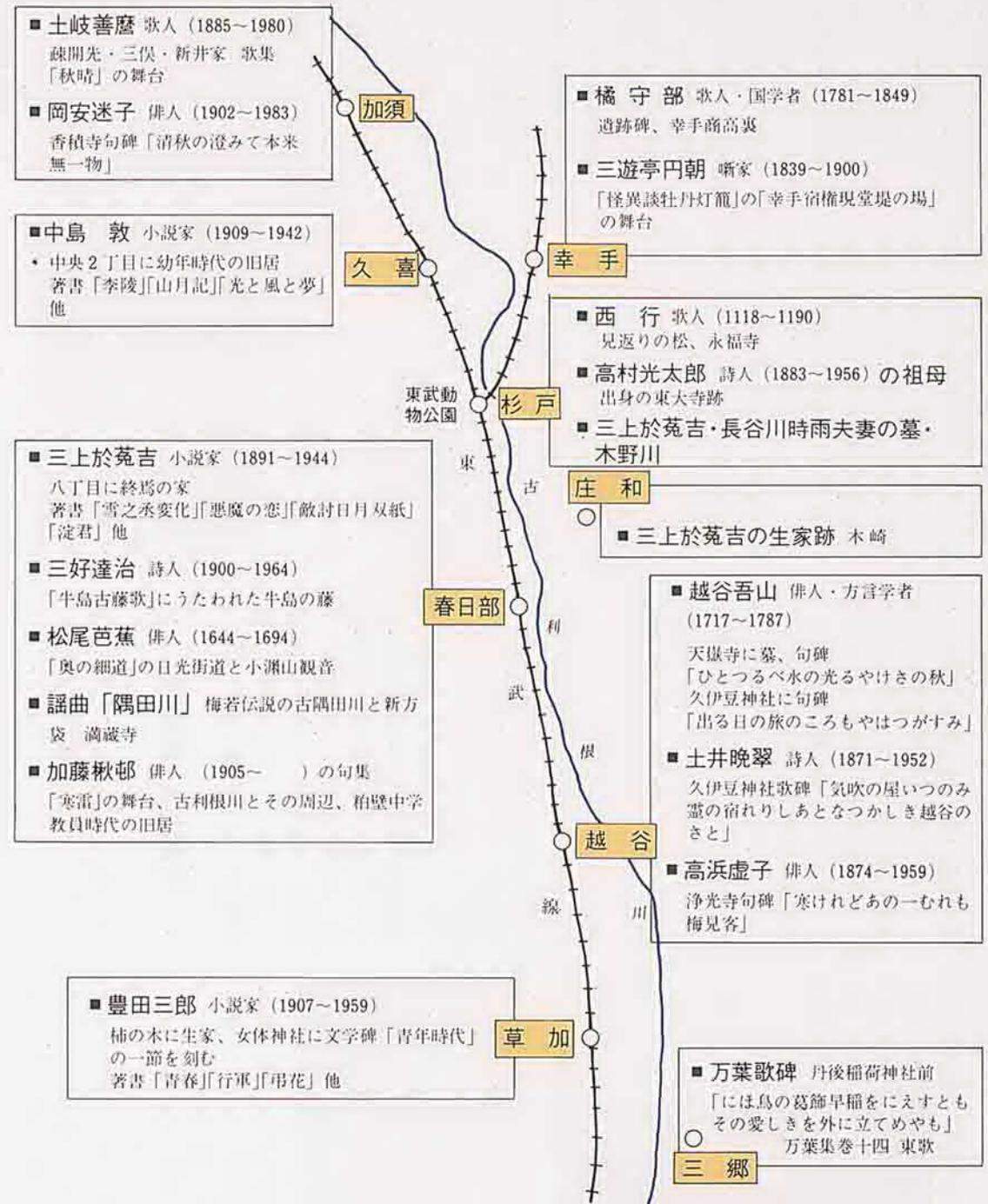
全ての催し物は無料です。会場は、いずれも主催館(印)が会場です。詳細は県立各館へおたずねください。

- 日時 9月11日(休) 13時半
 - 内容 レコード「アトランティック・リズム&ブルース」
- 映画会
 - 日時 9月4日(休) 13時半
 - 内容 「食…2千年の味(日本の食文化)」「芸…日本の花火」
 - 日時 9月18日(休) 13時半
 - 内容 「書道…平假名の表現」他

文学散歩

<1> 古利根に沿って

(県東部地方)



(関田史郎 作成)

読書グループの紹介

竹の子読書会

児玉町立図書館

埼玉一記念館のある桜の名所城山公園、ならびに保己一先生の生家、間瀬湖、百体観音などで知られる児玉町に「図書館友の会」が誕生して満三年になります。初年度は図書館で会のお世話を殆んどやっていたが、二年目からは図書館が協力し、会長を中心に会員全員で運営を行うようになりました。県立熊谷図書館の前課長の下山先生の御指導をうけていましたところ、会の名称を新しくしようときまり「竹の子読書会」と改名し、いまは軌道にのってすくすくとのびています。会員は次第にふえて会長の田淵八重子さんを中心に読書に熱心な男女二十八名で構成し、三十歳代から六十歳代の広い年齢層で、いつも和気あいあいのうちに活動しています。年間を通じて、図書



館を利用するとともに、定例の集りを次のような年間計画で行っています。概ね月に一回で、講師を招いて行う「読書活動研究会」、読書感想発表、各種講演会への参加などを始め「文学散歩」、および映画観賞、茶の湯、俳句、百人一首、座禅、他町村の読書会との交流など、読書活動を進めてゆくために、行事を幅広く取り入れるようにしています。また親子紙芝居大会などの図書館事業にも積極的に協力しております。これから更に図書館が協力し、会員の全員で新しい活動を考え、読書活動で学んだことを、できるだけ実行して行くとともに、意義のある読書会として永く継続するよう努力したいと会員一同が大いに張りきっております。(館長 笠原正義)

紫苑の会

妻沼町読書会

苑という字には文学者芸術家が集まる所(社会)という意味があり、とてもやさしい花の名前という事で「紫苑の会」が誕生しました。そしてその名にふさわしい苑を作り上げようという会の目標が同時に出来上りました。

第一回目の会の予定日が、大雪で中止になるというアクシデントがあり幸先の良いスタートではありませんでした。回を重ねる毎に会員の心の絆が深まり発足後二年半の今、第一期の土台作りが終わったように思います。

初めの年は会員が丁度自分を見つめる年代にさしかかっているので、郷土の英雄「五野吟子」をモデルにした「花理み」や「慶州ナザレ園」、「恍惚の人」、「序の舞」等、女性の生き方をテーマにした本を多く取り上げ、大変参考になり学ぶ事が多かったと思います。

二年目は「わたしの出会った子と私たち」、「親の立場子の立場」等、現在直面している子育てを取り上げ、母親としての在り方や子育てについて



発足以来県立熊谷図書館の係の方に一方ならずお世話になりここまでこぎつけました。八人という小グループではありますが、それぞれに内に秘するものを持ち夢多き人の集まりです。今後も読書を勉強としてではなく楽しみとして捉え、「継続は力なり」をモットーとして、肩のこらないうれやかな苑を作り上げて行きたいと思っております。(田中律枝)



こどものための性教育の本

「赤ちゃんはどうやって生まれるの?」、「私はお母さんから生まれたの?」などとお父さんに似ているの? 私たちは、こどもたちのこのような質問に、自信に満ちた態度で(内心はあわてていても)落ちついて答えることができるでしょうか。

あるいは、思春期の入口にさしかかったこどもたちは、自分のからだやこころの変化について心配や悩みを持ちながら人に相談できずにいるかも知れません。

性についてこどもの知りたがっていることは、年齢によって違います。その年齢にふさわしい、こどもが本当に満足する答を用意するということは、大人自身の生き方、考え方を問われることでもあり、とてもむずかしいことではないでしょうか。そこで今回は、県立図書館が所蔵する、こどものために書かれた性教

育の本を取り上げました。記載の内容は、次のとおりです。書名・著者・出版社・出版年(所蔵館)なお、今回は幼児から小学生までを対象とした本に限りしました。

- 赤ちゃん マリアンヌとリーズさく 石川慶子やく あかね書房 '86 (浦・川・久)
- あかちゃんかうまれる アニエス・ロザンスチエールぶん 庄司洋子やく 草土文化 '78 (浦・熊・川・久)



- 赤ちゃんのはなし マリー・ホール・エツツぶん 坪井郁美やく 福音館書店 '82 (浦・熊・川・久)
- あかちゃんはどうしてできる P・H・クヌートセンぶん きたざわきようこやく アーニ出版 '82 (熊・川)

- 赤ちゃんはどこからくるの? S・M・グルエンベルグ著 村岡花子訳 あすなろ書房 '72 (浦・久)
- おおきくなるってどんなこと ジョイ・リチャードソン著 日比逸郎訳 ポプラ社 '86 (川・久)
- おかあさんはうちゅうせん ふくよ たけじぶん 講学館 '79 (浦・熊・川・久)
- おかあさんは宇宙船 福世武次著 講学館 '81 (浦・熊・川・久)
- おとなへのパスポート 島崎道子編 斗夢書房 '82 (川・久)
- おへそにきいてごらん 七尾純さく あかね書房 '85 (浦・熊・川・久)
- おへそのひみつ 武川行男文 草土文化 '85 (浦・熊・川・久)
- 女の子と男の子の本 1~5 小形桜子(ほか)文 ポプラ社 '84
- 1 わたしとぼく、2 ふしぎな女の子のからだところ、3 ふしぎな男の子のからだところ、4 愛すること生きること、5 ころとからだ知りたこと事典 (熊・川・久)
- からだの成長 まんが性教育 福原保子監修 実業之日本社 '83 (浦)
- からだのひみつ 武川行男文 草土文化 '86 (浦・熊・川・久)

- からだのふしぎじてん Dr・A・マリオン・デビス編 毛利ミドリ訳 岩崎書店 '85 (浦・熊・川・久)
- ころからだ いのちのえほん 1~8 北沢杏子作 岩崎書店 '85
- 1 おかあさん、2 おとうさん、3 あいしあう動物たち、4 あかちゃんはどこからきたの、5 女の子、6 男の子、7 あなたがうまれるまで、8 生きることと愛すること (浦・熊・川・久)
- ころのひみつ 武川行男文 草土文化 '86 (浦・熊・川・久)
- こんにはいしよちゃん きたざわきようこやく アーニ出版 '82 (熊・久)
- すばらしい誕生の物語 リヨネル・ジャンドロ著 中島公子、中島さおり訳 女子パウロ会 '85 (久)
- すばらしいわたしたちのからだ フローレンス・ローゼンステール作 長田弓子、別府ちづこ訳編 階成社 '84 (浦・川)
- 性のQ&Aシリーズ (1)・(2) 佐賀そた作 斗夢書房 '85
- (1) 小学校低学年編 いのちのふしぎ、(2) 小学校中学年編 ふれあういのち (川・久)
- たまごからうまれたあかちゃん 長谷川一光作 階成社 '83 (浦・熊

・川・久)
 たまことひよこ ミリセント・E・セルサムぶん 松田道郎やく 福音館書店 '82 (浦・熊・川・久)
 どうしてなの? ママ ステン・ヘグラー著 高橋和夫訳 インタナル '78 (熊・久)
 なにがはじまるの? 世界一はずかしい質問のいくつかに答える。ピーター・メイル作 谷川俊太郎、たけむらみちこ訳 河出書房新社 '83 (川・久)
 ひとのからだ 毛利子来著 岩崎書店 '82 (浦・熊・川)
 ビ・リ・オ・ド 女の子のからだ

月経 ジョアン (ほか) 著 三輪妙子、川島淳子訳 実業之日本社 '81 (浦・熊・川・久)
 ほくどこからきたの? ピーター・メイル著 たにかわしゅんたろう訳 河出書房新社 '83 (熊・川)
 ほくのいもうとがうまれた 北沢杏子作 アーニ出版 '84 (浦・川)

ほくのもババみたいになるのか 入江幸子ぶん 第一法規出版 '82 (浦・熊・川・久)
 ママだけのティッシュユッてなあに 入江幸子ぶん 第一法規出版 '81 (浦・熊・川・久)
 ママのおなかの中で シルビア・キヤベニー著 大熊由紀子訳 三笠書房 '81 (浦・熊・川・久)
 もうすぐですね 初潮のほん 佐藤滋子文 自由企画・出版 '85 (川・久)
 わたしたちのからだ 緒方直助、大井清吉編 福村出版 '86 (熊・川・久)

編集後記

暑い日々が続いています。本号から「埼玉の文学」は、岡田史郎氏に執筆願ひ「文学散歩」として県内各地の文学関係を紹介してまいりますので御期待ください。
 前号の表紙写真「空から写ったきたま古墳群」を社会科の教材として活用したいと小学校の先生より連絡があり、他方面でも、この図書館だよりが活用されていることを、うれしく思いました。今後も頑張つて編集してまいります。
 県立四館共同の館報として、各館からの編集委員により編集・発行していますが、今年度は委員三人が変わり、不慣れのため、発行が遅れたことをお詫びいたします。

わたしたちのからだ 9 誕生と成長 ブライアン・R・ワード作編 横森周信訳 偕成社 '83 (浦・熊・川・久)

おたすねください

問 なぜ「青」は青色だけでなく、緑色もさすのでしょうか。
 答 現在、色の和名は千種以上に及ぶと言われていますが、江戸時代末期までに既に使われていた色の呼び名はそれ程多くはありません。

が色名に転用されたようです。「青」は、明と暗の中間の薄暗い英(草の中に日が沈む形)とした感じをいつていたのが、後に青色をさすようになりました。初期の名称は総括的で、すべての色を先四つの名称で区別していたので、一つの名称でかなり広い範囲の色を呼んでいました。「青」も、本来は、黒と白との中間の範囲を示す広い色名で、主に青・緑・藍をさしましたが、時には、黒や白もさして使われました。

で、色としては最初から緑色をさしていたようです。文献には、平安時代初期から多少登場しますが、江戸時代に入る頃から、色としての緑は、再び「青」と呼ばれることが多くなつてしまいました。

し、緑の葉を青葉、青々としたといえは実は緑のことで、空の色以外は総てそれと見てよいからです。また、馬の毛色の青みがかった黒色も「青」と使つたりします。

参考文献

- 「広辞苑」新村 出編 岩波書店
- 「日本国語大辞典」小学館
- 「古語大辞典」中村幸彦ほか編 角川書店、「日本の色」大岡 信編 朝日新聞社、「色の日本史」長崎 盛輝著 淡交社、「色の和名抄」三浦寛三著 創文社